



答 防災行政無線、防災ラジオ、広報車等での広報と消防団等とも連携し、非常事態に備えた広報活動を実施したい。

大向正義（自民党市議員）

在宅当番医制度の協議について

問 医師会が担ってきた在宅当番医制度は、最近では市民病院の救急外来を利用される方が増え、在宅当番医を利用される方が少ないようだが、医師会からどのような申し入れがあったのか。

答 平日の在宅当番医を利用する市民が少ないことや高齢者の増加に伴い医

療の内容が在宅訪問医療に移行していることから、令和2年度以降の在宅当番医制度の変更について協議の申し入れがあった。

問 医師会からの協議申し入れ書への市の対応を伺う。

答 医師会への聞き取りを行い、その後、市としての方向性を固めたので、文教委員会に報告後、医師会に回答していきたい。

日恵野佳代（無党派・日本共産党）

市民が安心して暮らせる蒲郡づくりについて

問 地域に根差した経済活動で雇用を支える小規模事業者の支援が必要である。住宅リフォーム助成制度の再開、商店リニューアル助成事業の実施の考えは。

答 住宅リフォーム助成事業は市内の建設業を中心に直接の経済効果があったと認識しているが、一時的な補助ではなく、持続的な経営と自発的な発展への取り組みを支える施策や起業への支援が重要と考える。

問 核兵器廃絶を訴えた口ーマ教皇のスピーチへの市長の感想は。

答 核兵器廃絶を強い言葉で訴えたスピーチに大変共感した。国の動向を見守りつつ、市民の皆さんが同じ方向を見つめ、核兵器廃絶に向け、できる限りの取り組みを進めたい。

鎌田篤司（市政クラブ）

新市長の政策理念について

問 市長が任期の4年間でやりたいことは。

答 トップセールスを積極的にやりたい。ロケーションサービスや特産品の開発などのシテイセールスを官民一体となって展開し、国内外に向けた発信力の向上を目指したい。

問 高齢者安全運転支援補助金制度の導入について

答 県内他市における導入状況は。西三河では豊田市ほか4市、東三河では豊橋



市が実施している。

問 制度導入に対する市の考えは。

答 国、県、近隣市町の状況を注視しながら、導入に向けて検討を進めていきたい。

大場康議（自民党市議員）

一色不燃物最終処分場について

問 埋め立てを終了し、4年が経過している。廃止に向けて県と協議しているとのことだが、廃止後の処分場用地を購入取得する考えについて伺う。

答 どのような目的で購入するか、廃止後の跡地利用を考えた上で、購入方法等の検討を進めていきたい。用地の大部分が借地であり、賃借料が発生しているため、速やかな対応が必要と考える。

問 用地の利活用の考えを伺う。

答 市役所内の関係部署で組織する跡地利用検討会議で検討しているが、廃止時期が見込めず、具体的な利用計画が立てにくい状況である。跡地利用を計画したうえで購入を進められるよう検討していきたい。



一色不燃物最終処分場